

# 印西地区ごみ減量大作戦のご紹介

平成28年2月5日

温暖防止印西 岩井邦夫

## H23年に減量運動の準備を始めました。その理由

- ・ 印西クリーンセンターが竣工から25年経ち更新時期が迫っていた。  
(印西CCは印西市、白井市、栄町の広域組合・印西地区環境整備事業組合が建設・運転)
- ・ 組合は、平成23年当時、平成30年を稼働時期として、240 t／日のごみ焼却炉を立て替える計画を立てていた。(建設費およそ120億円)
- ・ その当時、ごみ焼却量は114 t／日であったので、人口増加を見込んでもごみ焼却量をもっと減らせるはずだという住民の声があった。

# 市民活動団体と行政で準備会を立ち上げました

平成23年度次の構成で準備会を立ち上げ、検討を重ねた結果、平成24年度からごみ減量運動「**ごみ減量大作戦**」を開始することにした。

- ・ 市民活動団体（会長、副会長、監事を担う）  
ごみと暮らしを考える会（印西市）、温暖化防止印西  
白井環境ネットワーク（白井市）、栄町環境クラブ
- ・ 行政  
印西市クリーン推進課、白井市環境課、栄町環境課  
印西クリーンセンター業務班（事務局）

# 何故ごみを減らさなければならないか？

- ① 国民の責務⇒廃棄物処理法第2条の4に謳われている。罰則なし
- ② 経済性⇒ごみ処理費用は1世帯(4人家族)当たり年間約46,000円  
(次期中間処理施設が小型になり、建設費・運転費が安くなる)
- ③ 資源循環型社会の構築(有限な資源再利用)⇒持続可能な社会
- ④ 地球温暖化防止⇒ごみの搬送や石油製品などの焼却量が減少すればCO<sub>2</sub>が抑制／古紙のリサイクルが増えると森林破壊の抑制／アルミ缶のリサイクルで97%も省エネなど
- ⑤ 地球にやさしいエコな生活が出来る。

# ごみ減量の基本は3R

3Rも優先順位があります。次の順番で！

**Reduce (発生抑制)**



**Reuse (再使用)**



**Recycle (再生利用)**

# 印西地区のごみ分別の種類⇒16種類

- ①燃やすごみ(指定袋)、②燃やさないごみ(指定袋)、③粗大ごみ
- ④有害ごみ
- <資源物>
- ⑤ビン類、⑥カン類、⑦ペットボトル、⑧布類、
- ⑨プラスチック製容器包装(指定袋)
- ⑩新聞紙(折り込みチラシも)、⑪紙パック、⑫ダンボール、
- ⑬雑誌、⑭雑がみ(包装紙、菓子箱、ハガキ、封筒、カレンダー等)
- ⑮廃食油(拠点回収)、⑯使用済み小型家電(拠点回収)

# ごみ減量大作戦の方針

- 市民活動団体と行政からなる「**印西地区ごみ減量推進連絡会**」を立ち上げ、年3回の連絡会で、ごみ減量運動の計画・検討し実行する。
  - \* 印西地区ごみ減量推進連絡会規約を作成し、運動の目的、事業の内容、組織などを定めた。運動の基本はボランティア活動とするが、印刷代などの経費は印西区クリーンセンターがもつ。
- ごみ減量の対象は、家庭から出る「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「粗大ごみ」とする。
- ごみ減量の目標は、「印西地区ごみ処理基本計画」にある平成27年度までに「家庭系搬入ごみの原単位を**517 g/人・日**にする」を目指す。⇒キャッチフレーズ「**減らそう1割、燃やすごみ!**」

# ごみ減量大作戦の具体策

- 啓発チラシを作成し、住民に配布（別紙参照）
- 家庭で分別徹底⇒可燃ごみの1/4は雑がみや容器プラ等の資源物  
⇒町内会やクラブなどの出前講座で「**ごみ分別体験**」を実施
- 「**ごみ減量アドバイザー**」の認証・スキルアップと活躍の場提供
  - \* ごみ減量講習会参加者を認定／年一回はスキルアップ研修会を開催⇒現在の認証数；44名／2市1町では認証者などを廃棄処理法第5条の8に基づく「廃棄物減量等推進員」として「出前講座」等に活用
- ごみ処理・リサイクル施設の見学会の実施⇒夏休みは親子見学会



## その他、2市1町のごみ減量化対策

- 学校給食の残飯などの堆肥化・飼料化(白井市)
- 町内会・自治会単位で推薦された方をクリーンパートナー(廃棄物減量等推進員)に委嘱し、地域のごみ分別指導などに活躍してもらう。現在約80名が登録され、報奨金あり・活動報告義務あり／スマホでごみ分別支援／コンポスト容器の購入補助など(印西市)
- 印西市民を対象にした「3R推進シンポジウム」を開催(昨年10月にアルピニストの野口健さんを招いて開催した)
- 廃棄物減量等推進員に対する学習会(合計4日間)を開催(栄町)
- 特定地域に大型のコンポスト化設備を置いて生ごみのたい肥化と出来た堆肥の活用実験をはじめた。(栄町)

# 印西地区家庭系ごみ排出量・原単位の推移

\* 家庭系ごみ排出量とは、印西CCに搬入された家庭系燃やすごみ燃やさないごみ、粗大ごみの重量を言う。(単位;g/人・日)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
家庭系原単位	521	520	518	?

\* H20年度作成「ごみ処理基本計画」ではH27年度の目標は、**517** g/人・日

\* 最新の「ごみ処理基本計画」ではH32年度の目標は、**470** g/人・日

\* 印西地区の人口は、H24年9月で;176,898人/H26年9月で178,097人で微増

# 今後の課題

- ゴミ減量の目的を周知⇒**節税だけが目的ではない！**
- まずは、Reduce から！（余分な物は、買わない、もらわない等）
- 生ごみの脱水の徹底（生ごみの80%は水分）
- 雑がみの更なる分別⇒雑がみは燃やさず資源物へ！
- スマートフォン向け分別アプリ「ゴミ分別アプリさんあ〜る」の普及
- Q&A集の充実
- ゴミ減量アドバイザーの増員、レベルアップと活躍

おわり

# 親子ごみ処理・リサイクル施設見学会 (ごみ分別体験)

